

〔成蹊遺稿〕 漢學者。慶應二年備前國邑久郡福田村生れ、大正八年十月十日歿（二六七一—一九一九）。諱實、通稱惣次朗。成蹊處人、成蹊辻夫と署す。少時兒島東雄、のち大飼松寛、横山謙齋に學ぶ。また武技を好み、浅倉某に就き劍術を修む。身を操觚に投じ、『岡山日報』、『中國民報』に筆を執る一方、家塾を開いて漢籍を教授、傍ら操山義塾、閑谷塾、關西中學校等の囑託として漢文を教へた。政治にも關心を有ち、大養毅の國民黨に入つて岡山縣支部を益めた。

『成蹊遺稿』（妹尾淑谷編、大正十一年十一月二十日岡山・恒心社）がある。

